

佐々木りえ



大阪維新の会

おおさかいしんのかい

<佐々木りえプロフィール>

1982年8月24日生まれ 32歳
平成17年 国立島根大学卒業
バイク王CM
HS証券イメージガール
フジテレビプロ野球ニュース



大阪市は借金王国

私たち大阪市民は、日本一の借金を抱えています。大阪市民1人当たり約163万円。
市債とは公共施設の充実を図るために使われる市の借金ですが、
阿倍野再開発事業、WTCをはじめ、結果的に無駄遣いとなったこれらの総額は、実に1兆6000億円！
これ以上、次世代の子供たちに負の遺産を残すことは許されないのです。

大阪府と大阪市の二重行政を解消

同じ行政事務を、府と市の異なる機関でそれぞれ税金を投入して処理するという無駄が、二重行政の最大の問題です。橋下徹市長の大蔵都構想が実現すれば、このような無駄を排し、皆さんのがより豊かで安心して暮らせる大阪を作るための有益な財源が生まれることになります。

市民の負担は高まる一方

アベノミクスにより経済復興がもたらされたかに思えましたが、実は物価だけが徐々に上がり、消費税率も10%になろうとしています。

介護保険料は上がり、介護保険利用時の自己負担額も1割から2割負担へと高まる一方。
しかし、年金保険料を何十年にもわたり満額納めて来ても、支給額は段階的に2.5%下げられることになりました。このような現象の下、特別養護老人ホームの待機は増加し、所得階層にかかわらず、市民の皆様の費用負担の上昇問題は留まるところを知りません。
年金支給額の範囲内で十分に賄える、特別養護老人ホームの実現を目指します。

公共の不動産資源の有効活用

老朽化に伴い統合による廃止が予定されている大阪市立住吉市民病院の跡地に、
産科・小児科（無痛分娩）、特別養護老人ホームを建設し、女性がより子供を産み易くし、
また既に到来している超高齢化社会を見据えた介護施設の充実により、ご家族の負担を軽減させます。
さらに、公共の各種幼児施設を民営化することで、保護者の方々のニーズや経済的負担レベルに
応じたサービスの拡大を図ります。